

別記様式第九

工 事 計 画 一 覧 表

申 請 者 名					申 請 年 月 日	年 月 日		
ダ ム 名	()				目 的			
共同施設の他の設置者に関する事項	目 的	設 置 者 名			摘 要			
水 利 使 用 の 場 所	区 分	河 川			位 置			
		名 称	種 類					
	ダ ム			左 岸 右 岸				
	取 水 口							
	注 水 口							
	放 水 口							
取 水 量 等								
ダ 規 模	型 式							
	規 模	堤頂の高さ	越流頂の高さ	堤頂の長さ	堤頂の幅	敷 幅	のりこう配	体 積
		m	m	m	m	m	上流側 下流側	m ³

ム 本 体	基礎地盤				
	築造材料				
	位置及び型式の決定の理由				
	貯水効率				
貯	水位	計画洪水位	m	<small>たん</small> 湛水区域の面積	km ²
		常時満水位			
	制限水位)	貯留量	総貯留量	m
最低の水位)				
		(ダムの堤頂			
		(ダムの基礎地盤			
水	利用方法の基準				
	背 水 距 離	河	川	洪水時	平水時
		名称	種類		
				km	km
	計				

池	土地の現況					
	地 質					
	山くずれその他荒廃の状態					
集水	面 積	直接集水面積		km		
		間接集水面積計				
地 域	土地の現況					
	山くずれその他荒廃の状態					
降 水 量	関係河川名					
	観測所名					
	観測期間					
	日 降 水 量	最 大	mm	mm		mm
		最 小				
		平 均				
	月 降 水 量	最 大	mm	mm		mm
		最 小				
		平 均				
	年 降 水 量	最 大	mm	mm		mm
		最 小				
		平 均				
流	河 川 名					
	観測所名					
	観測期間					
	最大洪水流量 (発生年月日)		m ³ /s ()	m ³ /s ()		m ³ /s ()
	平 水 流 量	最 大	m ³ /s	m ³ /s		m ³ /s
		最 小				
		平 均				

量	低水流量	最大	m^3/s	m^3/s	〃	m^3/s
		最小			〃	
		平均			〃	
	濁水流量	最大	m^3/s	m^3/s	〃	m^3/s
		最小			〃	
		平均			〃	
附属設備	洪水吐	(計画洪水流量 m^3/s)				
	その他の放流設備					
	貯水池直接取水設備					
	集水施設					
	観測施設					
	通報施設					
	警報施設					
	その他の設備					
附帯施設						
工事の実施の方法及び順序						
工期	着工予定 完成予定			工事費 概算額		

調査設計主 任技術者	氏名	
	経歴	

備考

- 1 「ダム名」の欄のかつこ内には、貯水池の名称を記載すること。
- 2 「共同施設の他の設置者に関する事項」の欄は、当該ダムを他の者と共同して設置する場合に限り記載するものとし、同欄中「摘要」の欄の記載については、別記様式第二の水利台帳調書(乙)の備考5の例によること。
- 3 「水利使用の場所」及び「貯水池」の欄中「河川の種類」の欄には、別記様式第二の水利台帳調書(甲)の備考5(3)の例により河川の種類を記載すること。
- 4 「取水量等」の欄の記載については、別記様式第八の(乙の1)の備考2((7)を除く。)の例によること。
- 5 「ダム本体」の欄の記載については、次のとおりとすること。
 - (1) 「基礎地盤」の欄には、ダムの基礎地盤の岩石の種類及び性質、断層及び割れ目の状態、わき水及び漏水の状態等を記載すること。
 - (2) 「貯水効率」の欄には、有効貯留量をダムの体積で除して得た数値を記載すること。
- 6 「貯水池」の欄中「水位」の欄のかつこ内には、ダムの堤頂及び基礎地盤の標高を記載すること。
- 7 「附属設備」の欄の記載については、別記様式第二の水利台帳調書(乙)の備考8の例によること。
- 8 「附帯施設」の欄には、付替道路の種類及び箇所数、付替橋の数、土捨場の数その他ダムに関する工事に附帯して設置する主要な施設又は工作物の種類、数等を記載すること。
- 9 「工事費概算額」の欄には、当該ダムその他の施設を他の者と共同して設置するときは、当該共同施設の工事費概算額のうち各設置者がそれぞれ負担すべき額及び申請者の専用施設の工事費概算額を記載すること。